

Red Hatラーニングサブスクリプション(RHLS) Standard クイックスタートガイド

Red Hat®ラーニングサブスクリプションStandardへようこそ。RHLS Standard利用者は、すべてのRed Hatトレーニングをご自身のペースで1年間アクセスできるほか、以下の機能にもアクセスできます。

- 認定試験受験5種類＋再受験5回。認定試験は、RHLS受講期間中に受験する必要があります。
- 開発中のコースへのアクセス
- エキスパートセミナー - Red Hatのエンジニアによる高解像度のビデオセミナー
- クラウドベースのラボ - Red Hat環境での400時間の実習
- テキストのダウンロード - 1サブスクリプションあたり10冊まで(1日の上限は1冊まで)
- エキスパートチャット - コース教材に関するエキスパートの指導

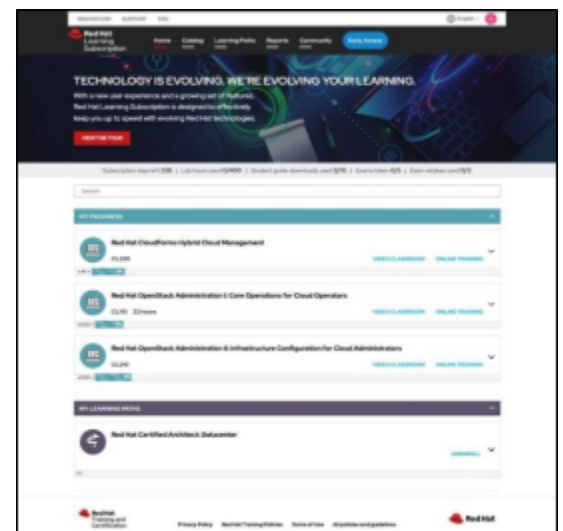
ログイン

<https://rol.redhat.com/rol/app/>

からRed Hatユーザー名でログインしてください。

ホームページ

サインインすると、ホームページにはコースの再開、コースの進捗状況の確認、および学習目標の設定のためのダッシュボードが表示されます。コースを開始するか、ラーニングパスを選択すると、ホームページから使用可能になります。学習中のすべてのコースを確認できるため、復習や今後のコースの確認が簡単にできます。



ホームページには、他にも機能があります。

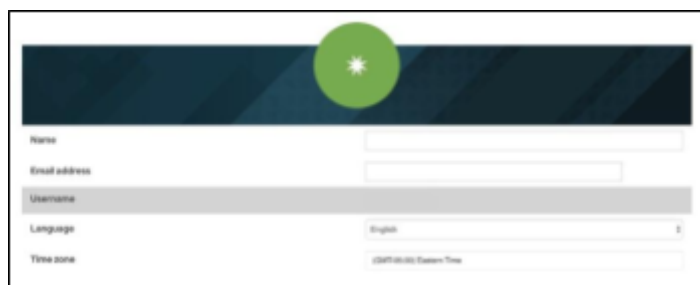
進捗状況トラッカー: ラボ時間、認定試験、およびテキストのダウンロードのトラッカー

残存日数 **304** | 使用済みの演習時間 **5/400** | E-books claimed **0** | 試験 **0/5**

言語: 右上の言語を選択すると、プラットフォームのインターフェースがその言語に変わります。選択した言語での翻訳がある場合には、コースのコンテンツも更新されます。翻訳が存在しないときには、コースは英語に設定されます。多くのコースは、さまざまな言語での翻訳が利用できます。それぞれのコースで言語を選択すると、その設定は全体の設定とは別に保存されます。



プロフィール: 画面右上角の星印をクリックすると、下記のフィールドに限り、プロフィール情報を更新できます。名前を更新すると、星印がイニシャルに更新されます。

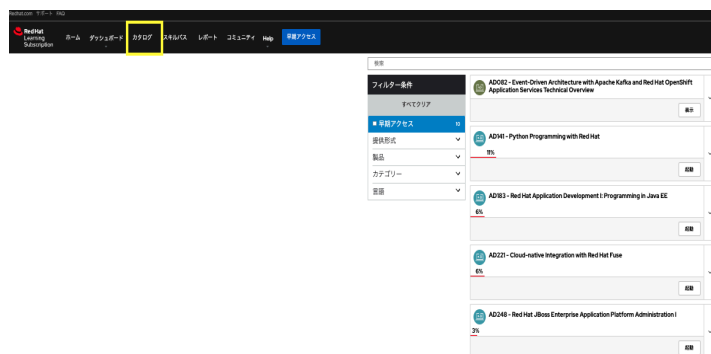
A screenshot of a user profile settings page. At the top, there is a dark header bar with a green circle containing a white star icon. Below the header, there are several input fields: "Name", "Email address", "Username" (highlighted with a grey background), "Language" (with a dropdown menu showing "English"), and "Time zone" (with a dropdown menu showing "GMT+08:00 Eastern Time").

メニューの概要

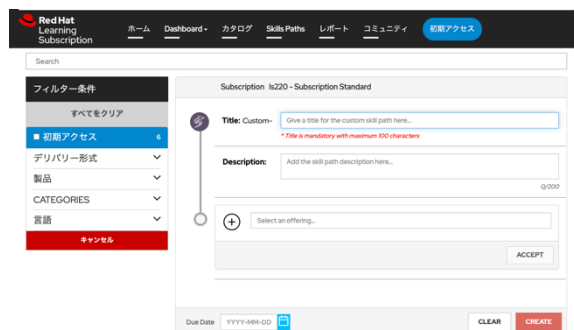
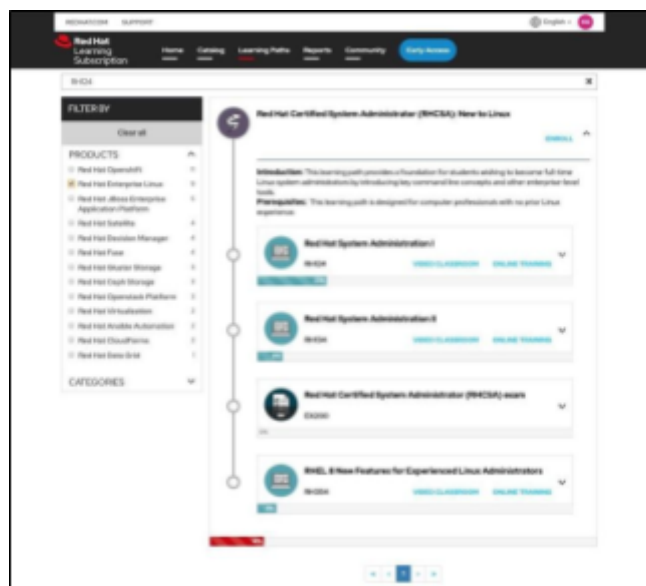
このセクションでは、RHLSの各ページについて説明します。



カタログ: ここには、コース、エキスパートセミナー、認定試験など、RHLSのすべてのトレーニングコンテンツのリストが表示されます。検索バーから、キーワードでコンテンツを検索できます。また、検索結果を配信形式、製品、カテゴリー、言語で絞り込むため、トレーニング目標に合った正確なコンテンツを簡単に絞り込むことができます。



ラーニングパス: Red Hat認定を獲得するためのロードマップが表示されます。各ラーニングパスは、関連する製品または受講者のスキルごとに異なっています。現在、20以上のパスがあり、大まかなスキルの習得や、認定獲得に向けて利用できます。また、各個人のオリジナルのスキルパスを作成し、管理することができます。



レポート: ここでは、コースの進捗状況、ラボの使用状況、および認定試験の登録状況を確認できます。また、このページからレポートをダウンロードできます。

コミュニティ:このリンクをクリックすると、[Red Hatラーニングコミュニティ](#) (RHLC) のページをご参照いただけます。これは、技術的スキルの提供、学習、構築、適応のサポートを目的としたオープンでコラボレーティブなラーニングプラットフォームです。メンバーになって、他の学習者やRHLS利用者とながらみましょう。ログインすると、ディスカッションへの参加、質問の投稿、バッジのアンロック、ラーニングビデオのプレビュー、ベストプラクティスの共有、Red Hat製品のマスターに意欲的な技術者との交流などが可能になります。Red Hatラーニングコミュニティを活用して、RHLSでの学習を補足し、オープンソース学習を進めましょう。[日本人向けのラーニングコミュニティ](#)もあります！

Early Access(初期アクセス-開発中のコース): Red Hatトレーニングは継続的に新しいコンテンツを開発しています。Early Accessにより、利用者は開発中のコースに、一般公開前にアクセスできます。コンテンツを試用して、フィードバックすることができます。この開発中のコースは、頻繁に変更されます。新しいコースは開発されるごとに追加され、全コースが完成すると、一般のコースカタログに移動されます。

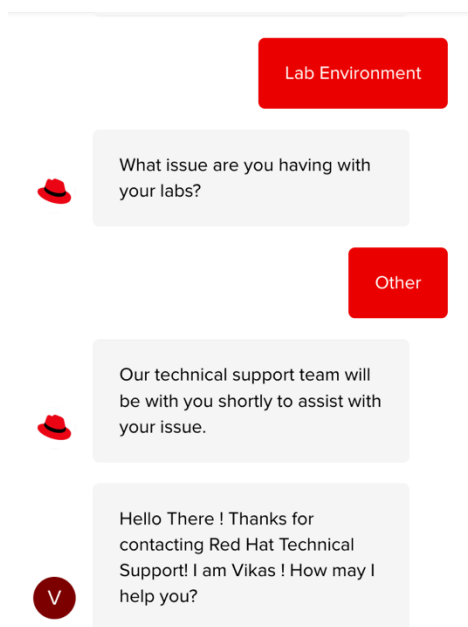
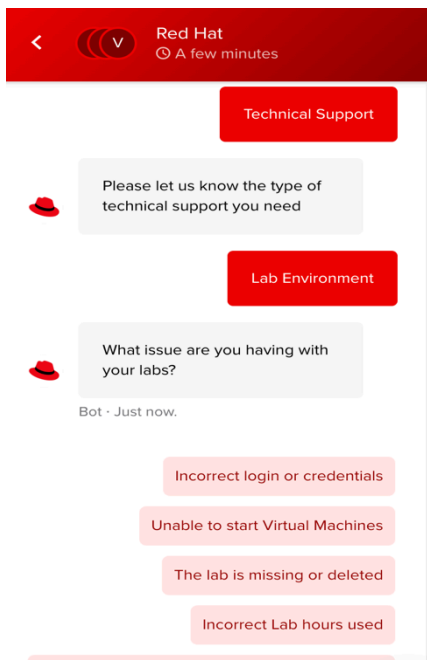
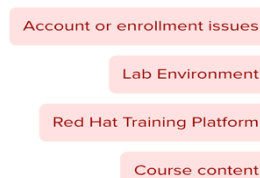
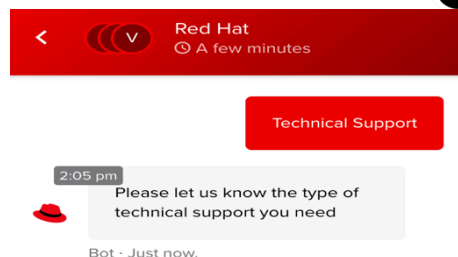
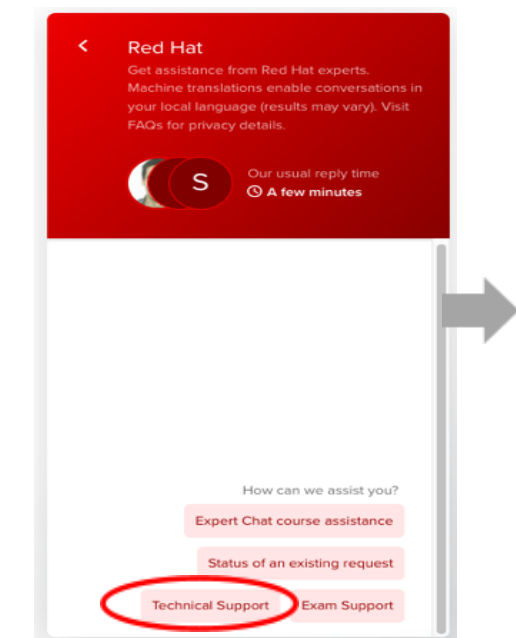
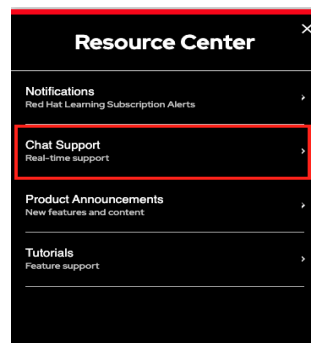
ダッシュボード:ダッシュボードは、コースの進捗状況、ラボの使用状況、試験のステータスに加えて、学習したトレーニングコンテンツの量と合計時間に関するデータを提供します。これらのレポートをダウンロードすることができ、マネージャーと共有することも可能です。

サポート

- サポートに連絡: RHLSを使用中、ポータルに問題が発生したときには、ポータルの左上の『サポート』をクリックしサポートケースを開きます。
(たとえば、ラボが正常に動作しない、試験が登録できない場合などで問題の内容に関する質問や演習内容に関する質問ではございません)
すると画面、右側に入力フォームが表示されるのでこちらに状況を入力します。
スタッフがRHLSの管理を技術レベルからサポートします。(日本語対応可能)

The screenshot shows the Red Hat Learning Subscription portal. In the top navigation bar, the 'サポート' (Support) link is circled in red. The main content area on the left displays the 'Red Hat Learning Subscription Group' with a 'JOIN THE GROUP' button and a progress bar showing 'Days remaining 100 | 使用した演習時間 21/400 | Student guide downloads used 2/10 | Exams 1/5 | Exam retakes 0/2'. Below this is a 'Terms and Conditions' section with a 'わかりました!' (I understand!) button. On the right side, the 'Open a Support Case' form is visible, containing fields for 'Issue Title*', 'Details*', 'Please select the impacted offering' (with a dropdown), 'Support Category*' (with a dropdown), 'Impact Level*' (with a dropdown), 'Username', 'Name', 'Email', and 'Subscription'.

- エキスパートチャット：右下の帽子マークを開くと、Resource Centerがあります。その中の、Chat Supportを選択ください。コースの中身について疑問点がある場合、Standard利用者は1日1回30分まで、コースのエキスパートとチャットで直接コミュニケーションを取ることができます。コース完了に向けた課題の解決をお助けします。（日本語対応可能です、ただしAIによる翻訳機能を使用した対応となります）



ここでサポートのスタッフとやり取りが開始します。

学習の開始

実際のトレーニングと認定試験にアクセスする方法について説明します。

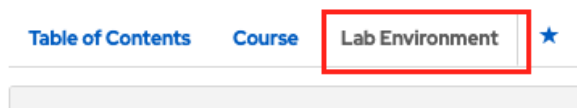
ラーニングパスの登録: **Skill Paths**のタブから、自身の学習と認定資格取得のために最適なパスを選択してください。パスを登録すると、ホームページの「マイラーニングパス」セクションに追加されます。

ラーニングパスを展開すると、次のものが表示されます。

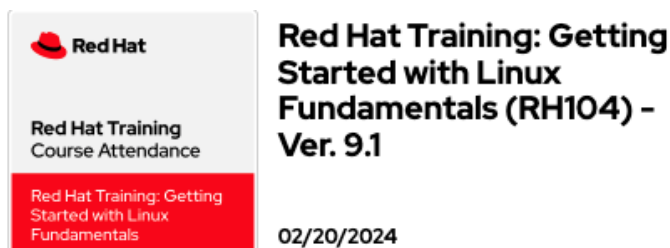
- パスを構成するコースと認定試験
- 各コースの詳細、前提条件、対象者
- パス内のコースの完了率
- パス全体の完了率

コースの受講を開始するときには、コースと教材について注意すべきことがいくつかあります。

- テキストのダウンロード: 1年間のRHLS受講期間中、合計10回までのテキストをダウンロードできます。1日のDLの上限は1冊となります。
- ラボ: 各コースにはそれぞれラボ環境が用意されていて、学習にあたって練習教材に取り組むことができます。コースを開始する前、ラボを起動してください。ラボによっては起動に時間がかかるため、このようにすると、必要なときにすぐに使用できます。ラボはコース内のLab Environment タブから実施できます。

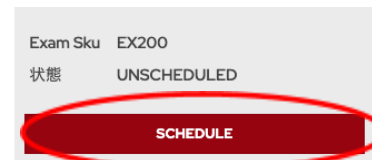
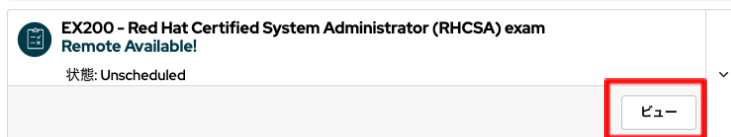


- 受講証明書: 各コースには受講証明書があり、コースの75%を完了するとダウンロードできます。Topページ右上のプロフィール、Achievementsに表示されるCertificationをクリックしてください。そこからCredyのページへ移動し、受講バッジを取得できます。



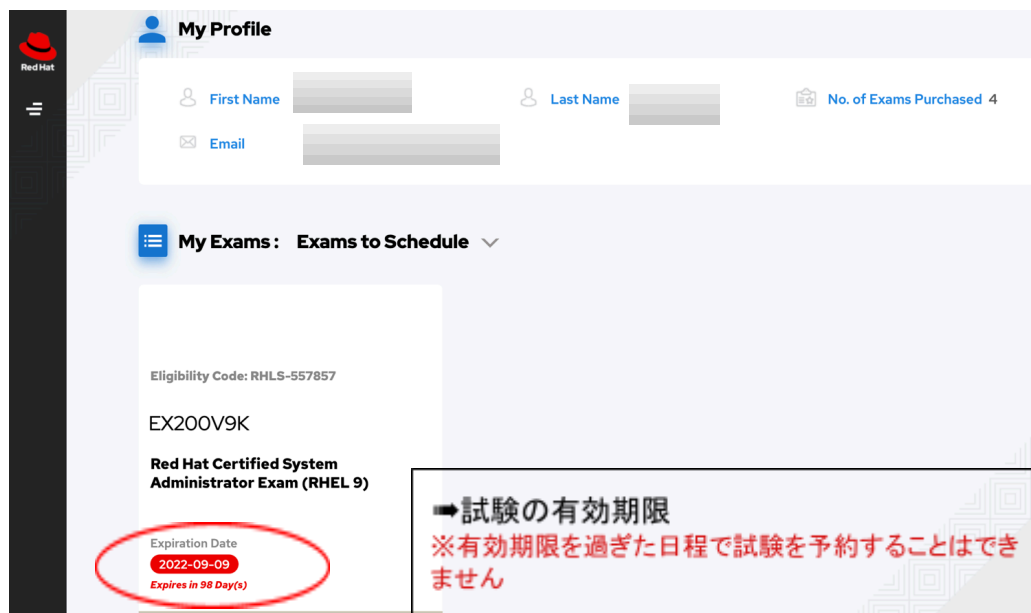
エキスパートセミナーの受講: エキスパートセミナーはRHLS Standardでのみ提供されるオンデマンドのビデオで、Red Hatコースの追加コンテンツです。5～15分のビデオで、Red Hatコースで紹介されている製品についてのヒント、ベストプラクティス、ユースケースをRed Hatのエキスパートが解説します。

認定試験の登録: 認定試験は、カタログのほか、ラーニングパスにも表示されます。認定試験のビューボタンをクリックすると、認定試験の詳細が表示されます。

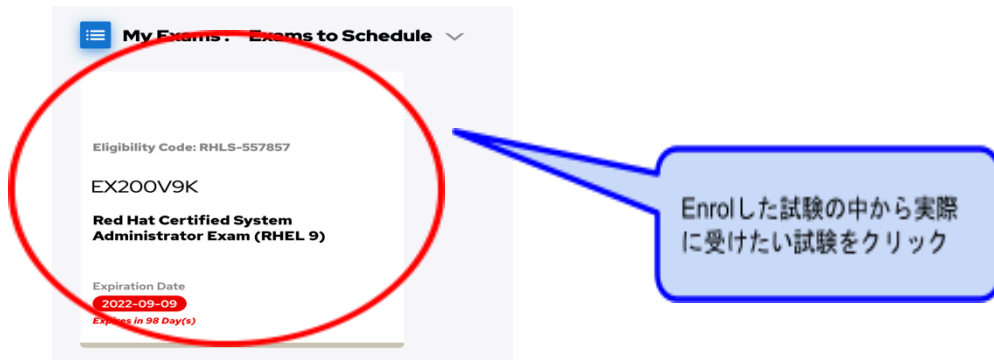


- 登録/SCHEDULEボタンをクリックすると試験スケジュールラへのリンクにとび、試験の日時を選択できます。
リンク: <https://rhtapps.redhat.com/individualexamscheduler/>
- 認定試験は、RHLS受講期間中に受験する必要があります。RHLS Standardでは、5種類の認定試験と2種類の再受験が可能です。

ログインしたら、「Red Hat Scheduler」のランディングページに入ります。ここでは、あなたのプロフィール情報と予定した試験が表示されます。横側のウィンドウ枠を広げると、他のオプションを見ることができます。



ID「身分証明書」のアップロード



政府公認の顔写真付き 身分証明書を画像データとしてアップロードする。

-運転免許証

-パスポート

-マイナンバーカード (※12桁の番号は必ずマスキングをしてアップロードしてください)

※IDの確認の為、1日～3日程、IDの確認結果をお待ちください。

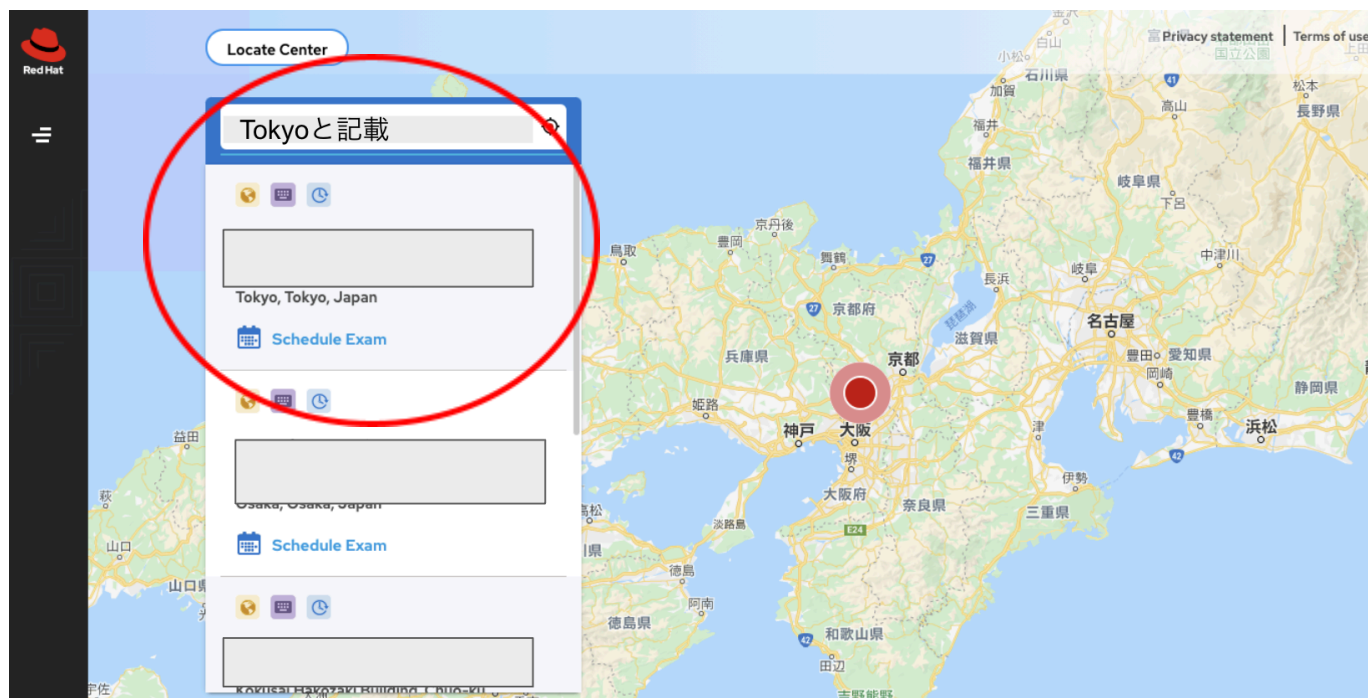
メールにてアップロードしたIDの確認結果報告が届きます。

試験の日程を組む方法

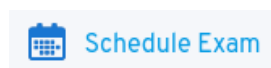
IDがApprovedされたら、試験の日程を組むことができます。ご希望の試験形態を選択します。

(テストセンターまたはリモート試験)受験方法を選択後、試験のバージョンを選択します。

テストセンターをクリックすると、「Locate Center」ページに行きます。既定では、あなたの現在位置に基づくセンターが表示されます。



地域を選び、「Schedule Exam」ボタンをクリックすると、試験の日程を組むために利用可能な日時を見ることができます。



次のページで、現在の日付から次の1週間まで、そのセンターで利用できる日付と時間帯を確認することができます。

EX200V9K

Red Hat Certified System Administrator Exam (RHEL 9)

Address : Nihonbashihakozakicho, 4-3 Kokusai Hakozaki Building,,Chuo-ku, Tokyo, Tokyo, Japan

LOCATE US

JUN, 2022 ▶

SU MO TU WE TH FR SA

120

56789101112131415161718192021222324252627282930

20 MON

21 TUE

22 WED

23 THU

24 FRI

25 SAT

26 SUN

Times shown as 24 hour clock

13:00	09:00 >	09:00 >	09:00	09:00		
14:00	10:00	10:00	10:00	10:00		
	11:00	11:00	11:00	11:00		
	12:00	12:00	12:00	12:00		
	13:00	13:00	13:00	13:00		
	14:00	14:00	14:00	14:00		

Times shown as 24 hour clock

No Exam

Seats Available

別の日を選択すると、その日から次の1週間まで利用できるスロットが現れます。
※グレーアウトされている箇所は、既に予約が埋まっている、予約不可になります

ご希望の日時を選択し、「timeslot(時間帯)」をクリックします。「timeslot」をクリックすると、「RESERVE」ボタンのある最終確認のページに移ります。

EX200V9K

Red Hat Certified System Administrator Exam (RHEL 9)

Address : Nihonbashihakozakicho, 4-3 Kokusai Hakozaki Building,,Chuo-ku, Tokyo, Tokyo, Japan

LOCATE US

JUN, 2022 ▶

SU MO TU WE TH FR SA

120

56789101112131415161718192021222324252627282930

← Back

Exam Code

EX200V9K

Time

09:30
(time shown as 24 hour clock)

Eligibility Code

RHLS-557857

Date

2022-06-22

Exam Name

Red Hat Certified System Adminis...

Update Personal Information

Phone Number

Certification ID

Required Field: Please enter a valid value

☐ I Agree. [Terms and Conditions](#)

RESERVE

※当日連絡可能な電話番号と共にご自身の個人情報を必ず更新し、また、「I Agree(同意します)」チェックボックスにチェックを入れて下さい。

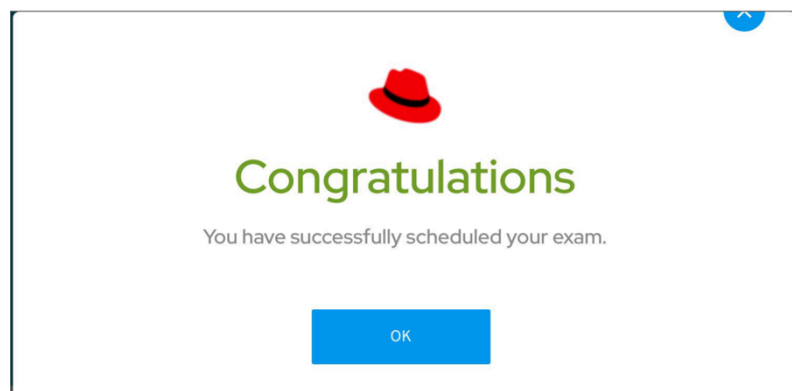
Update Personal Information

Phone Number	Certification ID
<div>Required Field: Please enter a valid value</div>	

☒ I Agree. [Terms and Conditions](#)

 RESERVE

この時点で「RESERVE」を押して、試験の日付と時間帯を予約することができます。
予約を確認するポップアップが現れます。



「OK」ボタンを押すことにより、Red Hat Schedulerのランディングページに入ります。ここでは、上のコーナーで日時が記載された試験を確認することができます。

また、Red Hat Individual Examination (Red Hat個別試験)の情報のセッションの確認について、メールによる通知が送られますので、必ず内容をご確認ください。

予定した試験のスケジュールの変更

Topページより日程変更したい試験を選択することにより、予定した試験のスケジュールの変更を行うことができます。

一度予約した試験をキャンセル、または、日程変更、試験の受験方法の変更をされる場合、**試験実施日の24時間前まで**に必ず変更をお願いいたします。当日キャンセルや24時間後を過ぎてしまうと、試験一回分として消化されます。

Exam on 2022-10-10 21:30 Asia...

Eligibility Code: RHLS-563687

EX200V9K

Red Hat Certified System Administrator v9

Expiration Date: 2023-09-09 Expires in 339 Day(s)

EX200V9K

Red Hat Certified System Administrator v9

Country: Japan

Eligibility Code	Exam Time	Exam TimeZone	Exam Date	Expiration Date
RHLS-563687	21:30	Asia/Tokyo	2022-10-10	2023-09-09

This prompt is for COUNTRY OF GOVERNMENT-ISSUED PHOTO ID

Select Country *

Japan

Upload Your Country ID

Approved

Privacy policy

SUBMIT

Cancel Reschedule Change Type

ここからスケジュールのキャンセル、日程変更、または、受験方法の変更ができます

Topページから変更したい試験をクリック

試験当日について

- 当日、登録で使用了した身分証明書(ID)をご持参の上、試験会場にお越しください。
- 試験を受講する際、ログインIDとパスワードが必要になります。
- 試験前に、IDの確認他、事前説明が御座います。

遅刻および欠席について

- 試験に参加できなかった、または試験開始時刻より 15 分以上遅れて到着した場合、**試験セッションおよび料金は失効し、受講者は試験のスケジュールを変更することはできない。**

※電車遅延・自然災害等の理由による遅刻・参加不可は要相談(遅れる際は事前にご連絡下さい)

試験を受講される際の注意

- PC(キオスク端末)の電源を指示無く再起動したり、ケーブルの抜き差し等の行為はご遠慮ください。

試験結果について

- 試験結果は米国時間3営業日以内に受験者に電子メールで結果が通知される。

認定資格や認定番号についてのお問い合わせについて

- <https://www.redhat.com/rhtapps/services/comments/>

リモート試験での受験方法

<動画>試験準備～終了までの一連の流れについて説明しております。

<https://youtu.be/53tamMX4qnY>

認定試験のイメージ動画

<https://youtu.be/Me6Y12-sux8>

USBブートやシステム要件について

<https://learn.redhat.com/t5/Certification-Resources/Getting-Ready-for-your-Red-Hat-Remote-Exam/ba-p/33528>

詳細については[コミュニティーページ](#)のGetting Help for the Remote Examをご参考ください。

オンライン試験についてのお問合せ窓口

試験当日の合否についてやトラブル等が発生した場合のお問い合わせ先※英語のみ

<https://rhtapps.redhat.com/comments/>

リモート試験環境についてのトラブルが発生した場合のお問合せ先(Chat対応)

試験登録後に届くメール内からアクセス

Dear Kyoko Fujita:

Thank you for scheduling your Red Hat Certification Exam.

We would like to ask you a few questions about your experience after taking the exam to let us know how we are doing. Please provide your feedback on your experience [here](#).

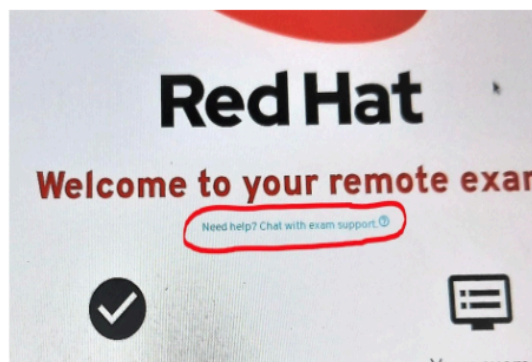
Your registration information is as follows:

Exam	Red Hat Certified Specialist in Containers and Kubernetes
Exam Code	EX180V4K
Eligibility Code	LMS-664882
Scheduled Date and Time	2020-10-19 20:15:00
Time Zone	Asia/Tokyo
Exam Duration	02:00 hours
Red Hat Username	12345&ZXCVB

Have questions about your certification exam?

Contact us via [chat](#)

互換性テストのページ内からアクセス



詳細について

RHLSの詳細については、Red Hatラーニングサブスクリプションの[FAQ](#)をご覧ください。以下お問い合わせフォームにご相談ください。

<https://forms.gle/SnBZPMk6GD39Vk8d8>

Appendix

レッドハットアカウントの登録とアカウントの動作確認について

1) レッドハットアカウントの登録

- ・レッドハットアカウントをお持ちでない方は、以下のリンクよりアカウントの登録をお願い致します。

https://access.redhat.com/ja/articles/customer-service-accounts?extIdCarryOver=true&sc_cid=701f2000001OH6fAAG#createlogin

上記のドキュメントをご参照ください。

お名前は、ローマ字での作成をお願い致します。(漢字、カナ、特殊記号はNG)

- ・既にレッドハットアカウントをお持ちの方

登録のお名前が漢字表記の場合は、ローマ字へ変更をお願い致します、
(漢字、カナ、特殊記号はNG)

レッドハットのアカウントの詳細(www.redhat.comにログイン)より変更が可能です。

2) レッドハットアカウントの動作確認

以下のレッドハット学習管理システムにログインし自身のメニュー画面をご参照ください。
Webページが参照できれば、レッドハットアカウントの登録は完了です。

<https://training-lms.redhat.com/sso/saml/auth/redhat>

3) レッドハットアカウントとパスワードの保管

ログイン頂いたレッドハットアカウントでのアカウント、パスワードは
RHLSにログインする際に使用しますので自身にて保管をお願いします。